



コスモス

「祖父母保育自由参加」ありがとうございました

朝夕はずいぶん涼しくなり秋の気配が少しずつ出てきました。ようやく酷暑から開放されるかなと思います。ただし、台風18号の動きが気になるところです。

さて、9月17日～20日の期間に実施した「祖父母保育自由参加」には、たくさんのおじいちゃん、おばあちゃんにご参加いただきました。子どもたちは遊んでもらって大喜びでした。暑い中、ありがとうございました。最先端の「こどもが主体的にあそぶ」保育はいかがでしたでしょうか。ご感想ご意見等があられたら、是非お聞かせください。



おじいちゃんやおばあちゃんたちは、笑顔で楽しそうにお孫さんたちと遊んだり、遊びを見守ったりしていらしゃいました。

和洋女子大：田島先生をお招きしての研修会

今年度も9月11日～13日に、「こどもが主体的にあそぶ」、「こどもがまんなか」の最先端の教育・保育を研究、提唱されている和洋女子大学の田島大輔先生をお招きして研修会を実施しました。田島先生には4年連続で来ていただき、ふたばの先生方や女子高校の保育コースの生徒、県内の主任保育士へご指導やご助言をしていただいています。

12日は、今年初めて女子高校と龍谷高校の保育コース1年生が合同で、子どもの「すごいところ」や「おもしろいところ」、「あそびの環境」などをふたばこども園で観察し、それを基に保育についての学習を行いました。(右写真)

こども園で直に子どもたちとふれあい、観察し、より身近に感じ、知ることができるアクティブな学習でした。きっと素敵な保育士になる学習ができたことと思います。

また、13日には県内の幼稚園、こども園の主任保育士の先生方が、ふたばの公開保育を参観され、それを基にこれからの教育・保育のあり方を学びました。ここでも、先駆的、先進的な教育・保育を実践しているふたばこども園がモデルとなりました。

この3日間の研修会には、保護者の皆様には先生方の研修時間の確保のため、早めのお迎えなどにご協力頂きました。本当にありがとうございました。

運動会の開催について

10月26日(土)に運動会を開催します。今年も、子どもの体調や安全、保護者の方々が参観しやすい状況の確保などを考慮し、昨年と同様に各学年ごとに実施します。

運動会の開始時間やプログラムなどの詳細については、後日コドモンで配信します。必ずお読みいただき、ご理解していただくようお願いいたします。

なお、当日は高校のバドミントン県大会と行事が重なっています。

そこでお車でのご来園については、以下の2点を厳守していただくようお願いいたします。

① **お車はご家族一台に限らせていただきます。**「遠方から祖父母が来るから2台で」などは、ご遠慮ください。緊急の場合を除き、いかなる理由も受け付けることができません。

② **駐車は指定された場所をお願いします。**後ほど駐車券をご家族に1枚のみ配布します。その駐車券が指定する場所に駐車してください。**駐車券のない場合は、駐車をお断りします。**

駐車場が混み合いご迷惑をおかけしますが、お互いルールを守り、誰もが楽しめる運動会を実施したいと思います。ご理解ご協力をお願いします。

その一部が佐賀新聞(9月22日付)で紹介されました。

合同学習で保育の視野広げ 佐賀女子、龍谷高生 園児と交流

佐賀市の佐賀女子高と龍谷高の保育コースは、初めての合同学習を市内のふたばこども園で実施した。両校の1年生約50人が、園児と触れ合いながら意見を交換し、保育に関する視野を広げた。

「保育士不足や保育の質確保といった課題の解決に向け、保育教育の質を高めよう」と企画した。生徒たちはグループに分かれて園児と交流し、「膝に付いた砂を洗って靴がぬれても気にしない」「既製品ではなく、手作りした物で遊ぶよう工夫されていた」など、気づきを発表した。

講演した和洋女子大の葉原の田島大輔助教は生徒の発表について、「理解できない言葉でも意味がある。子どもの有能さを知ろうとできる人が保育士に向く」と解説。子どもたちは「遊びを通して成長する」と説明し、「自主選択や決定ができる遊びの環境を整えてあげるのが大事」と説いた。

佐賀女子高の北野明愛さんは「子どもに対する固定概念をなくした柔軟なコミュニケーションの大切さを実感した」と学習の感動を話した。(松尾綾子)

2024年(令和6年)9月22日(日曜日)付 佐賀新聞より